

	つながりのある教育の創造部会	子どもの学ぶ意欲向上部会
メンバー	佐久間部会長、小林、横貫、国吉、齋藤	新谷部会長、片山、川村、上甲、中川
事務局	山口、三村、高山、黒木、古崎、松岡	八木、西岡、杉井、向井、永田
第2回 1/17	『開発的生徒指導の推進』（計画 P16） ・自立をめざした生徒指導の在り方  <b>【討議の柱】</b> ① 自立とは何か。自己実現とは何か。 ② 自立できる人間を育てるために重要なことは何か。 ③ 自立をめざした生徒指導の在り方や具体的な手立ては何か。	『開発的生徒指導の推進』（計画 P16） ・自己肯定感を高めるための生徒指導 ・受容と共感で結ばれる人間関係づくり  <b>【討議の柱】</b> ① 自己肯定感はなぜ大切か。 ② 自己肯定感を高めるための土台は何か。 ③ 受容と共感で結ばれる人間関係づくりにおいて重要なことは何か。
メンバー	佐久間部会長、小林、横貫、国吉、齋藤	新谷部会長、片山、川村、上甲、中川
事務局	八木、三村、高山、黒木、古崎、松岡	山口、西岡、杉井、向井、永田
第3回 2/17	『小中一貫教育の推進』（計画 P24） ・子どもの発達段階を考慮した教育内容・教育課程  <b>【討議の柱】</b> ① 小中のギャップとは何か。 ② 小中の円滑な接続のために重要なことは何か。 ③ 思春期の入り口となる5年生以降の教育内容や形態についてどのような形が望ましいか。	『一人ひとりの学びに応じた学習支援』（計画 P14） ・学校における自学自習の在り方 ・子どもの発達段階を考慮した支援内容  <b>【討議の柱】</b> ① サタスタ・まなび舎の現状と展望 ② 学校における自学自習体制の状況について ③ 自学自習体制の充実に大切なことは。 ④ 低学年・高学年・中学校それぞれの段階でどのような学び支援が適当なのか。
メンバー	佐久間部会長、小林、横貫、国吉、齋藤	新谷部会長、片山、川村、上甲、中川
事務局	水野、三村、高山、黒木、葎本、松岡	寺西、中野、杉井、向井、永田
第4回 6/29	『小中一貫教育を進める環境づくり』（計画 P29） ・小から中へとスムーズかつ柔軟な接続ができる学校環境  <b>【討議の柱】</b> ① 35人学級も含め、さらなるきめ細かな指導のために有効な施策は。 ② 円滑な小中の接続のために有効な学校環境はどのようなものがあるか。 ③ 門真市において義務教育学校を視野に入れて、今後の学校の在り方を考えていくことについて。	『子どもの主体的な学びの育成』（計画 P13） ・言語能力の育成 ・授業改善、発達段階を考慮した教育内容  <b>【討議の柱】</b> ① 言語の力を育成することに資する取組の在り方は。 ② 主体的に学びに向かうため、発達段階を考慮した授業の在り方は。 ③ 35人学級も含め、生徒指導の充実や分かる授業推進のための有効な施策は。

第5回	『中間答申の検討』	
第6回	<p>『子どもの居場所づくり』（計画 P39）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもにとって居心地の良い家庭・地域</li> <li>・子どもの貧困問題</li> </ul> <p><b>【討議の柱】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 子どもにとって居心地の良い家庭とは。</li> <li>② 子どもにとって居心地の良い地域とは。</li> <li>③ 上記が達成されるための条件とは。</li> </ol>	<p>『子どもの居場所づくり』（計画 P39）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりが大切にされる環境づくり</li> <li>・子どもの貧困問題</li> </ul> <p><b>【討議の柱】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 一人ひとりに居場所があり、学ぶ意欲が喚起される教室環境とは。</li> <li>② 門真市の奨学金制度の在り方について</li> </ol>
第7回	<p>『就学前教育・保育の環境づくり』（計画 P28）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就学前教育・保育と小学校との接続性</li> </ul> <p><b>【討議の柱】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 就学前教育の重要性について</li> <li>② 門真市幼児教育・保育共通のカリキュラムについて。</li> <li>③ 小学校と幼稚園・保育所の円滑な接続のための必要なことは何か。</li> </ol>	<p>『ともに学びともに育つ教育の推進』（計画 P20）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インクルーシブ教育</li> <li>・課題を持つ子どもの学びの保障</li> </ul> <p><b>【討議の柱】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① インクルーシブ教育の意義とは。</li> <li>② 各校の状況及び合理的配慮の在り方について</li> <li>③ 不登校児童生徒への対応の在り方</li> </ol>
第8回	<p>『自分の将来を描ける力の育成』（計画 P25）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中一貫したキャリア教育の推進</li> </ul> <p><b>【討議の柱】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① キャリア教育とは。</li> <li>② 小中一貫したキャリア教育を推進するための条件とは。</li> <li>③ 小中一貫したキャリア教育推進のための施策とは。</li> </ol>	<p>『自分の将来を描ける力の育成』（計画 P25）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・将来への展望を持たせるキャリア教育の内容</li> </ul> <p><b>【討議の柱】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① キャリア教育とは。</li> <li>② 将来の展望が持てるキャリア教育の教育内容とは。</li> <li>③ キャリア教育推進のための施策とは。</li> </ol>
第9回	最終答申案検討	
第10回	最終部会	最終部会
第11回	最終答申	